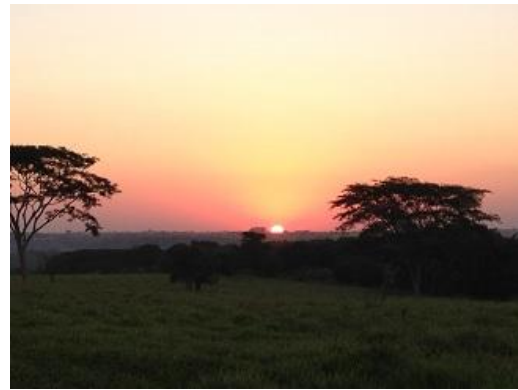


# だい13 じょるなう

日没が早くなり、南十字星が早い時間に高い場所に昇るようになりました。朝晩は少し寒く厚手のトレーナを着ることもあります。日中は暑くなり半袖で十分です。1日の中で衣替え…。陽射しは相変わらず強いですが夏のように燃えるような痛さはありません。風はどこか優しい暖かさがあります。周りはいつも緑に囲まれています。季節は移り変わっていると感じます。



帰り道…日没は6時過ぎ

## \*\* 婦人会 石けん・かりんとう作り 5月3日(金) \*\*

5月3日は北からの優しい風が心地よい日でした。午後から婦人会の集まりで石けん・かりんとうを作りました。日本でもオリーブオイルを使って石けんを作ったことがありますが、ココで使ったのは牛の脂(初めて見ました)でした。時代ものの量りで牛脂を量り煮融かします。苛性ソーダ・洗剤などを加えてかき混ぜていると飴色のドロツとした石けん液に変わっていきます。それを牛乳パックに入れて出来上がりです。固まると翌日から使えると聞いてビックリ(日本で作った時は数か月経たないと使えませんでした)…



第3アリアンサは何でも美味しいですが、このかりんとうもとても美味しいです。サクサク感や生姜のきいた甘辛味が絶妙です。Brに来てあちこのかりんとうを食べましたが最良なしに第3のかりんとうが一番です。この日はそのかりんとう作りということで期待が高まっていました。秘伝レシピ?の盗撮にも成功!これでいつ日本に戻っても安心です(!?)

同時進行でコンデンスミルクを使った“沖縄のドーナツ”も作っておられました。何という名前か分からないと言っておられました…これは「サーターアンダギー」ではないでしょうか。



## \*\* お母さん いつもありがとう! 「母の日の会」

5月11日(土) \*\*

5月12日は母の日…第3アリアンサでは11日(土)に「母の日の会」を開きました。日頃の感謝をこめてお父さんや子供たちが腕を振りました。





日本語学校ではお母さんの絵を描いたり作文を書いたりしました。可愛いお母さん、きれいなお母さん、優しいお母さん…大好きなお母さんを思いながら真剣に楽しく作業が進みました。

お父さん&息子たちも余念がありません。当日は昼過ぎから打ち合わせを行いプログラムや演出を考えます。調理場では小松アンデルソン料理長のもと、焼きそばや焼肉、焼き魚の準備が進んでいました。



お父さんたちの入念な打合せ

焼きそば準備

会場に展示する絵や作文の飾りつけ

プレゼントのタイミングは？ケーキカットは？

会場も整い、お母さんたちが会館に入ってこれられました。会館入口に展示した絵や作文をゆっくり見て着席。会館後部では焼きそばが仕上げの段階、クッピン(牛のコブ)のホイル焼や焼き魚、漬物などお父さん自慢の料理が並びます。



お母さんに感謝をこめて



焼きそばの仕上がりを見守っています



丁寧にダシをとって作る焼きそばは美味

午後6時、母の日の会がスタートしました。島崎清文協会長よりお祝いの言葉をいただき、青年会を代表して西田一郎さん、日本語学校の十川まゆみさん・まさお君が感謝の言葉を伝えました。島崎正男相談役の乾杯の後、食事が始まりました。美味しい料理にお母さんたちは笑顔です。和気あいあいと会が進み食事もひと段落したころ、アリアンサのお母さん一人一人にプレゼントが渡されました。



「お母さんはいつも料理を作ってくれます…  
お母さんはいつも洗濯をしてくれます…」



美味しい料理に笑顔のお母さん



お母さんを代表してケーキカット  
南なつえさん・島崎みちよさん

会も終わりに近づき、手作りの大きなケーキができました。お母さんを代表して島崎さんと南さんがケーキカット、少しずつ参加者に配られました。ふわふわの美味しいケーキでした。その後、婦人会を代表して池田さん(島崎妙子さん代読)、お母さんを代表して尾関一枝さんからお礼の言葉があり、最後は全員で「北国の春」を合唱して終わりました。



いつも思うことですが、婦人会の集まりも母の日の会も日本ではもう少なくなっていたり見られないイベントなのではないでしょうか？アリアンサには人々の思いやりや繋がり、村の一体感を感じる時間があります。とても素敵です。